

テ、公ノ御政ヲ吉モ惡モヨク知テ、除目有ラムズル時ニハ、先ヅ國ノ數多開タルヲ、各ノ次第ヲ待テ、望ム人々ノアルヲモ、國ノ守ニ宛テ押量テ、其ノ人ヲバ、其ノ國ノ守ニコソ被成ラヌ、其ノ人ハ道理立テ望メドモ、否不成ジカシナド、國毎ニ云タリケル事ヲ、人皆聞テ所望叶タリケル人ハ、除目ノ後朝ニハ、此ノ大君ノ許ニ行テナム讚ケル、○下

〔文德實錄五〕仁壽三年五月戊午、參議正四位下左兵衛督兼近江守藤原朝臣助卒、○中助心性清直、不憚毀譽、朝廷之士、爲之跼蹐、

〔三代實錄五〕貞觀三年二月廿九日癸酉、參議從四位上行太宰大貳清原真人岑成卒、○中岑成立性清直、不拘小節、初爲大和守、盛改造官舍、有能名、至于爲大貳、西府倉屋、破壞特甚、有意脩造、不遑寧居、伐神社之木、充結構之用、或人諫云、此神見稱有靈、崇答所致、不利於人、岑成拒而不肯、強令伐取、因此受病、不幾而卒、時年六十三、

〔續古事談二〕八條大將保忠ト申人オハシケリ、本院ノオト○時ノ子ナリ、大ニハチラレタル人也、内へ參リ給ケル道ニ、時ノ鞞負ノ佐アヒテ、車ヨリオリテ立タリケリ、大將トガメテ云ク、騎馬ノ時、此禮アルベシ、車ニテハアルベカラズ、鞞負佐陳ジテ云ク、車ニテオリザル事ハ、タガヒニ其人トシラヌ時ノ事也、君隨身グシ給ヘリ、我又火長相シタガフ、ステニ其人ト知ヌ、何ゾ禮節ヲイタサバラント云ケリ、大將理ニラレテホメ給ケリ、

〔撰集抄三〕正直房往生事

美濃國と聞えしやらん、中比其國にあやしの僧里を廻て、人にみやづかふ侍けり、いみじく心ばへわりなくて、何事にも心得たりければ、人々我もくゝとあらそひやとひ侍りけり、二三日づ、なんつかへけり、わざとひとつ所には、久しくはいはずと侍ける、心だての云べきかたなく、すなをに侍ければ、正直坊と名付てよぶ人もあり、又直心坊となん云族も侍けるとかや、○下